

聖霊の働き

ヨハネによる福音書 16:12-15

（そのとき、イエスは弟子たちに言われた。）言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。父が持っておられるものはすべて、わたしのものである。だから、わたしは、『その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる』と言ったのである。」

説教

地図をみても、詳しく道を教わってもどうしても迷子になってしまうことを「方向音痴」といったりします。似たようなことが霊的にも起こります。親子関係、夫婦関係、友達関係、上司と部下の関係など人間関係、また病気と自分の関係、いろいろなことが行き詰っている状態、霊的な迷子になることは誰にでもあります。理想とはいわないけれどただふつうに戻りたいだけなのにうまくいかない。目的地に着くことはさせておき、せめて出発地に戻りたい。状況が悪くなるとそれさえかなわないような気持ちになる「霊的音痴」状態です。でも「真理の霊＝聖霊」はわたしが希望する「その道」をことごとく悟らせてくれると福音は語っています。

真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。ヨハネ 16:13

ここでヨハネ福音書が語る「真理の霊」とは聖霊をさしています。聖霊が来るとわたしたちは聖霊に導かれて真理を悟るんだ、とみことばは教えています。「導く」とは具体的にはどんなことをいっているのでしょうか。わたしは聖霊は「道」を指し示してくださるのだと思っています。聖霊はわたしたち

を真理の道へと導いてくださるのです。では「真理の道」とはどのようなものでしょうか。

神の知恵は語る。主は、その道の初めにわたしを造られた。 箴言 8:22 (第一朗読)

神の知恵とはロゴス（ことば）です。「その道」に先だって知恵をつくられました。知恵＝ロゴス（ことば）は道より先行しています。まず知恵があってそこに続く道をつくった。道の初めに知恵がある。道の行き先は「神の知恵」ロゴスということになります。道とは「神の知恵」へと続く道です。だからこそ導かれた道を進むことで不安は消え、それは安心の道となります。古くから聖書は地図のようなものだたとえられてきました。地図がわたしたちに道を教えてくれるように、霊的な迷子になったら聖書を見なさい、そこに記されている道に戻りなさいという教えです。聖書に書かれたみことばは霊的な道をわたしたちに指し示してくれます。この説教がみことばの読み解きの助けとなって、一人ひとりの霊的な道を示すことができますように。
